



広報佐野日大

SANONICHIDA vol. 243 2026.3.2



卒業おめでとう!

TOPICS

- ・【卒業式にあたって】校長 お祝いの言葉
- ・【輝る 佐日旋風】部活動の活躍
- ・【サニチフラッシュ】学校生活
- ・【硬式野球部】12年ぶり 選抜高等学校野球大会出場決定

校長式辞

「新しきあけぼの」に寄せて



校長 高原 健治

第60期生、386名の皆さん。ご卒業、誠にありがとうございます。今、それぞれの道へ第一歩を踏み出そうとしている皆さんは、本校の校訓である「自主創造」「文武両道」「師弟同行」のもと、学業や部活動、そして学校行事や生徒会活動にと、数多くの挑戦と努力を積み重ね、本日卒業を迎えることができました。心からお祝い申し上げます。

皆さんが本校に入学された日に、私は二つのことをお話ししました。一つは、「高い志を持ち、自分の夢に挑戦すること」。もう一つは、「よき友人をつくること」でした。また、一年生の始業式では「夢や目標を持つことの大切さ」、そして「佐野日大生としての誇りを持って行動すること」を伝えました。当時の皆さんは新しい制服に身を包み、不安と期待が入り混じる中で、高校生活の第一歩を踏み出しました。

あれから三年。今日、ここにいる皆さんの姿を見ると、入学当時の不安は挑戦へと変わり、期待は努力へと姿を変え、確かな成長となって結実していることを強く感じます。

皆さんが高校生活を送ったこの三年間の中で、本校は創立60周年という大きな節目を迎えました。60年という長い歴史の中で、皆さんの三年間は決して短い時間ではありません。変化の激しい時代にあって、本校の歩みを確かに受け継ぎ、次へとつないだかけがえのない時間であったと言えるでしょう。

校門に入ってすぐの場所に、三年間皆さんを見守ってきた石碑があります。その石碑には、次の言葉が刻まれています。

われの自覚この地に生じ

わが青春このところにひらく

「われの自覚」とは、自分は何者であり、何を大切に生きていくのかを問い続ける姿勢です。皆さんはこの三年間で、学業や部活動、学校行事や人との出会いを通して、数えきれないほど自分自身と向き合ってきました。その一つひとつの経験が、皆さんの心の中に「確かな自覚」を生み、「高い志を持つことの大切さ」を育ててきたのです。また、「わが青春このところにひらく」とは、単なる若さのことではありません。夢を掲げ、目標を立て、挑戦し続けようとする心のあり方そのものです。皆さんが本校で培ってきたその姿勢は、これから先の人生においても、必ず皆さんを支える力となるでしょう。

皆さんが式典や集会で何度も歌ってきた校歌の中にも、同じ思いが込められています。

三轟山みどり明るく望みあり

佐野わが母校 日本の歴史この土に生く

この地に根差し、夢を掲げ、歩みを重ねてきた本校の歴史の中に、皆さん自身も確かに存在していることをこの一節は静かに、しかし力強く語りかけています。校歌は、さらにこう続きます。

新しきあけぼのに 涙み交わす知識の泉

文化の旗をかざすもの 日大の誉まれをうけて

若人われら続かばや

「新しきあけぼの」とは、まさに今日この日のことです。ここから始まるそれぞれの道に向かい、学び続け、知を深め、志を高く持ち社会の中で自らの役割を果たしていく、その決意と期待がこの歌には込められています。

本日3月2日は、何かが完全に終わる日でも、すべてが始まる日でもありません。終わり始まりの「途中」に立つ日です。不安と希望が交差するこの瞬間に立っているからこそ、皆さんは今、新たな一歩をここから踏み出そうとしています。

これからの社会は、決して平坦な道ばかりではありません。しかし、皆さんが本校で身につけた「挑戦する力」「人とつながる力」「誇りを持って行動する姿勢」は、どのような場面においても皆さんの進む道を照らす確かな礎となるはずです。どうか自分の可能性を信じ、出会いを大切に、恐れず挑戦し続けてください。

そして迷ったとき、立ち止まりたくなったときには、三轟山の風景とともに、この学び舎で過ごした日々を思い出してください。母校は皆さんをいつも見守り、心のよりどころ「ふるさと」であり続けます。

今日このあと歌う校歌は、ここにいる私たち全員が、同じ時間と同じ場所を生きた証です。これまでの日々とこれから歩む未来の両方を胸に、一つひとつの言葉をかみしめながら歌ってください。

卒業生の皆さんの未来が、それぞれの場所で大きく花開くことを心より願っています。

佐野日本大学高等部 校歌
三轟山みどり明るく望みあり
佐野わが母校 日本の歴史この土に生く
新しきあけぼのに 涙み交わす知識の泉
文化の旗をかざすもの 日大の誉まれをうけて
若人われら続かばや

ひか 輝る 佐日旋風

～ 部活動の活躍 ～

剣道部



祝 優勝!
全国大会
出場決定!

1月31日(土)、ユウケイ武道館にて栃木県高等学校剣道新人大会兼第35回全国高等学校剣道選抜大会県予選会が行われ、男子団体で見事優勝しました。決勝では大将戦で競り勝ち、全国大会への出場を決めました。

スキー

祝 全国大会出場!

2月3日(火)～8日(日)、菅平高原パインピークオオマツスキー場(長野県)にて第75回全国高等学校スキー大会が行われ、工藤杏那さん(2年・小山・大谷中)がアルペン競技で出場しました。



第67回栃木県都市町対抗駅伝競走大会 陸上競技部 活躍!



◀6区ゴール地点にて

1月25日(日)、第67回栃木県都市町対抗駅伝競走大会が行われ、陸上競技部より12名が各都市町代表として出場し活躍しました。中村龍堂さん(3年・那須塩原・三島中)は那須塩原市Aの第6区で出走。区間賞(新記録)の力走で総合優勝に貢献しました!

サッカー部



祝 準優勝!

栃木県高等学校サッカー新人大会
1月11日(日)～2月1日(日)

ラグビー部



祝 準優勝!

栃木県高等学校ラグビー新人大会
1月10日(土)～24日(土)



2025.12～2026.1



特別進学コース出陣式



特別進学コース3年生を対象に、出陣式が行われました。代表として関根巧海さん(3年・佐野・北中)が、これからの受験への決意を述べ、応援團も熱いエールを送りました。

まちづくり部 事例発表



栃木県教育委員会事務局 安足教育事務所等の主催する「安足地区ふれあい学習ネットワーク」にまちづくり部が参加し、活動の事例発表をしました。活動内容やその思いなどを堂々と発表することができました。

ハンガリー姉妹校訪問



国際交流の一環として、姉妹校のハンガリー・フンファルビト高校を訪問しました。ホームステイを通じて異文化を学び、国際的視野を広げました。また自由時間には市内を案内してもらい、現地の生活を直接感じることができました。

吹奏楽部ジョイントコンサート



吹奏楽部が佐野市・足利市内の中学校と合同でジョイントコンサートを行いました。第3部の合同ステージでは、総勢約80名の生徒が「そりすべり」「銀河鉄道999」などを演奏し、大いに盛り上がりしました。

ほっと、一息エピソード ～クリスマスライブの裏側～

12月18日(木) SANICHI COMMONS にて、有志バンドによるクリスマスライブが行われました!生徒・教員ともに、大いに盛り上がり熱狂の中ライブは終演しました。

本校に軽音楽部はありません。出演した辻灯真さん(1年・古河・総和中)は、バンド活動に興味を持ちつつも諦めていました。そんなとき、ふと聞こえてきたベースの低音。下校しようとしていた辻さんは音の間こえてくる場所を探して、本館4階に駆け上がり、ドアを叩いたところ、演奏している有志バンドの仲間たちがいました。「好き」を共有できる仲間と、「好き」を応援したい教員がタグを組み、今年度の集大成としてクリスマスライブを開催することができました。教員バンドの一員である柿尾先生は「生徒が楽しめることが一番」と頬をゆるませていました。

自身の「好き」を追求し、仲間とともに高め合う。「今度は他校とライブをやりたい!」...一人ひとりの夢が広がる、素敵な時間になりました。



クリスマスライブの様子(左:辻さん)

12年ぶり 号外 選抜高等学校野球大会 出場決定!!

1月30日(金)、第98回選抜高等学校野球大会出場校が発表され、関東地区代表として本校硬式野球部が選出されました。



飯塚副市長から花束を受け取る麦倉監督

その後、報告会を行いました。まず、高原校長が発表の報告をしました。来賓代表の飯塚久佐野市副市長からのお祝いの言葉に続いて、麦倉洋一監督が挨拶を述べました。



出場校発表にあたり、多くの関係者の皆様から来校し、大型モニターに映し出される発表の瞬間は、会場から大きな拍手が湧き上がりました。部員たちは画面に大きく映し出された「佐野日本大学高校」の名前を感慨深く見つめていました。これまでの努力が結実した瞬間に、これから始まる選抜大会に向けての士気を静かに高めている様子でした。



取材を受ける様子



スタジアム30に移動し、報道関係者からの取材を受けました。

主将の中村盛汰さん(二年・郡山・安積第二中)は、甲子園のプレーを通じて日ごろから応援してくれている方々へ感謝の気持ちをしっかりと伝えていきたいと意気込みを力強く語りました。

- 今後の予定**
- ・3月6日(金) 組み合わせ抽選会
 - ・3月11日(水) 壮行会
 - ・3月19日(木) 開幕・開会式

春の選抜高校野球大会への出場は12年ぶり5回目になります。待ち望んでいた甲子園への春切符を手にした部員たちは歓喜に沸いていました。甲子園という大舞台でも佐野日大らしく粘り強い野球で佐野旋風を巻き起こしていただけることを期待し、全校生徒で力いっぱい応援しましょう!



保護者から贈られた必勝だるま



最後に出場祝賀会を行いました。同窓会、OB会、保護者会の皆様とともに喜びを分かち合う和やかなひとときとなりました。

編集
後記

アルプススタンドを見事な桜色に染めた春の甲子園から12年、再び硬式野球部が待望の春切符を手に入れました。野球部の健闘を期待するとともに、みんなで力いっぱい声援を送りましょう。卒業生の皆さん、卒業おめでとう。皆さんとの日々は本当にかげがえのない時間でした。これから先も、自分の可能性を信じ、挑戦し続けてください。皆さんの未来が輝かしいものであることを心より願っています。(広報佐野日大 編集委員一同)

広報佐野日大 VOL.243
佐野日本大学高等学校 栃木県佐野市石塚町2555
☎0283-25-0111代 <https://high.sano-nichidai.jp/>